

仕様書No. T3167-SP01

製品仕様書

製品名 抜止0Aタップ(マグネット付)

製品型番 A8140
A8110
A8001
A8009

承認	確認	担当
小池 '23.04.10 俊輔	松川 '23.04.04 克巳	吉野 '23.04.04 勇士

作成年月日 2023年4月10日 改定年月日

1. 適用範囲
本仕様書は、大和電器(株)において製造される抜止OAタップ(マグネット付)
(以後OAタップという)に対して適用する。
2. 関連規格
電気用品安全法 : 別表第1-1,4-1,4-6
日本産業規格(JIS) : C8303,C8306,C3005,C3306
3. 形状及び材質
OAタップの形状及び材質は、添付の図面による。
4. 定格, 極数, 極配置及び適合証明書番号
 - 4.1 定格, 極数, 極配置
定格:15A 125V , 極数:2極(接地形) , 極配置 : OAタップ (.)
: 差込プラグ I.I
 - 4.2 適合証明書番号
延長コードセット : JET1141-43047-1002 (大和電器(株)製)
5. 外観
 - 5.1 性能を害するような、または外観上見苦しいバリ、ヒケ、カケ、変形等のないこと。
 - 5.2 外観上見苦しいキズ、汚れ、色むら等のないこと。
6. 表示
 - 6.1 OAタップ
添付の図面による。
 - 6.2 差込プラグ
添付の図面による。
 - 6.3 コード
使用コード一覧参照
7. 構造
 - 7.1 OAタップ及び差込プラグは、抜差しが容易な形状で、電氣的接触が確実であること。
 - 7.2 通常の使用状態で、充電金属部に試験指が触れないこと。
 - 7.3 差込プラグを差込み、右方向に回転させることにより、差込プラグが容易に抜けなくなる。
 - 7.4 OAタップは、外郭にABS、差込口及び刃受金具の保持部にユリア樹脂を使用した二重構造。
 - 7.5 差込プラグは、プラグ刃を熱硬化性樹脂で絶縁した二重構造。
 - 7.6 コードの接続方法
O A タ ッ プ 側 : カシメ止めの後、平形接続子による差込接続
差 込 プ ラ グ 側 : カシメ止めの後、スポット溶接又はハンダ付
 - 7.7 コードの構造(使用コード一覧参照)
 - 7.8 各部の絶縁距離(空間, 沿面)は、通常の使用状態で表1の値を満足すること。

表1 各部の絶縁距離(空間, 沿面)

極性が異なる充電部相互間	1.5mm(端子部は3.0mm)
充電部とアースする恐れのある非充電金属部 又は人が触れる恐れのある非金属部の表面	1.5mm(端子部は3.0mm)

- 7.9 接地用端子ネジ付(1ヶ所)。
- 7.10 仮固定用のフック付(2ヶ所)。
- 7.11 仮固定用のマグネット付。
- 7.12 通電確認用のLED付(色調:緑)。

8. 性能

項目	特 性	試験方法
8.1 引張強度	100N(10.2kgf)の荷重を1分間加えたときカケ、フレ、ヒビ等がないと共に使用上有害な異常のないこと。	JIS C8303の7.20
8.2 温度上昇	15Aの電流を通电したとき、開閉試験の前後で刃受部の温度上昇は、下記の値を満足すること。 初期値 : 35K (35℃)以下 開閉後 : 40K (40℃)以下	JIS C8306の4
8.3 開閉性能	下記の条件で開閉試験を行なったとき、使用上有害な異常がないと共に8.2,8.4,8.5の各項を満足すること。 22.5A125V(力率約1.0), 6~10回/分にて 100回	JIS C8306の10.6
8.4 絶縁抵抗	DC500V絶縁抵抗計により異極間及び充電部と非充電金属部間を測定したとき、開閉試験の前後で100MΩ以上。 但し、基板をはずした状態で測定。	JIS C8306の7
8.5 耐電圧	AC1250Vを異極間及び充電部と非充電金属部間に1分間加えたとき、開閉試験の前後で異常のないこと。 但し、基板をはずした状態で測定。	JIS C8306の8
8.6 耐 熱	80±3℃にて7時間放置後、使用上有害な異常のないこと。	JIS C8306の14
8.7 外郭押圧強度	600N(61.2kgf)の荷重を1分間加えたとき、本体に使用上有害なカケ、フレ、ヒビ、破損などの故障がないこと。	JIS C8306の13.5.2
8.8 自重落下	1mの高さより振り子状に3回落下させたとき、本体に使用上有害なカケ、フレ、ヒビ、破損などの故障がないこと。	JIS C8306の13.5.3(1)
8.9 コード引止部強度	90N(9.2kgf)の張力を1秒間加える操作を25回及び器具より5cmの箇所を保持してコードを押し込んだときコード引止部の破損がなく、コード接続部のズレが2mm以下のこと。	JIS C8306の13.2.1
8.10 コード屈曲性能	屈曲角度左右60°, おもり500gにて5000回屈曲後断線率は、20%以下。	JIS C8306の13.2.2(2)
8.11 ヒートサイクル	18Aの電流を45分間通电し、45分間休止する操作を1回として125回繰り返したとき、25回目の通电の終わりとは125回目の通电の終わりのコード接続部の温度上昇の差は8℃を超えないこと。	JIS C8306の16
8.12 差込プラグ刃取付部強度	刃2本に下記の張力を加えたとき、刃の脱出のないこと。 100N(10.2kgf)にて2分間	JIS C8303の7.10.(b)
8.13 差込プラグ圧着部温度上昇(接地極部は除く)	15Aの電流を通电したとき、刃の圧着部温度上昇は下記の値を満足すること。 30K(30℃)以下	JIS C8306の4
8.14 接地極部の接触抵抗	接地極部の刃と刃受に対し、50mΩ以下	JIS C8306の5.1
8.15 マグネットの吸着力	きれいなスチール板(油、埃等のないもの)に吸着した製品を図1のように35N(3.57kgf)の荷重を製品中央部に加え、矢印方向水平に引張った時、はずれのないこと。	図1

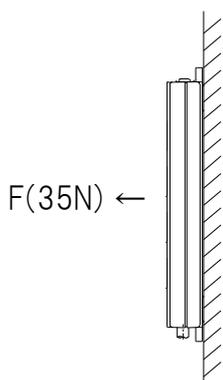


図1 マグネットの吸着力測定方法

9. 使用条件

9.1 使用場所

住宅や事務所等の屋内で使用し、過酷な取扱いを受けるような作業現場、直接水のかかる場所、屋外での使用は不可。

9.2 使用温度範囲

-10℃～40℃

9.3 使用上のご注意

- (1) 屋内配線の絶縁抵抗試験等で定格電圧以上の電圧が印加される場合は、必ずコンセントからOAタップのプラグを外して下さい。
- (2) ご使用は必ず「はずれる」の位置からプラグを差込み「はまる」の位置まで確実に回転させ使用して下さい。
- (3) はずすときは、プラグを「はずれる」の位置に回してからプラグを真っ直ぐ上に引き抜いて下さい。

10. その他

10.1 関連する諸性能に不具合が生じた場合は、双方の話し合いによりすみやかに解決する。

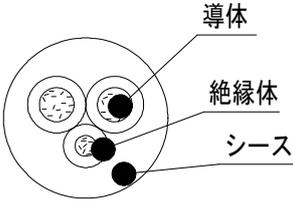
10.2 本仕様書に記載されていない事項については、双方の話し合いにより決定する。

使用コード一覧

ビニルキャブタイヤ丸形コード(VCTF)

2.0mm²×2心+0.75mm²×1心

1. コードの構造

種類		ビニルキャブタイヤ丸形コード(VCTF)
線心数		3
導体	サイズ	2.0mm ² (37/0.26mm)×2心、0.75mm ² (30/0.18mm)×1心
	外形	1.8mm×1.1mm
	材質	軟銅より線
絶縁体	厚さ	0.6mm
	材質	塩化ビニル樹脂
シース	厚さ	1.1mm
	材質	塩化ビニル樹脂
仕上り外形		約φ8.5mm
断面図		

2. 適合証明書番号及びコード表示内容

適合証明書番号	製造元	コード表示内容
JET1342-12009-1004	富士電線工業株	VCTF 2mm ² +0.75mm ² (PS)E JET FUJI E. W. C 製造年 コードはたばねて使用しないでください

——安全上のご注意——

コードセットをより正しく安全にご使用いただくため、特に下記の項目を需要家にご注意ください。

警告

- 1) 器具に表示された容量以下でご使用ください。容量を超えて使用すると過熱して火災の原因となります。
- 2) コードを束ねてのご使用は、お避けください。コードが過熱して火災の原因となります。伸ばしてお使い下さい。
- 3) 水のかかる場所では、使用しないでください。万一、水、洗剤、殺虫剤等に浸った場合は新しいものと交換して下さい。感電や火災の原因となります。
- 4) 濡れた手で操作しないでください。感電する恐れがあります。

注意

- 1) サウナやコタツの中などの温度や湿度の高い場所では使用しないでください。感電や火災の原因となります。
- 2) ほこり、湿気の多い場所では、プラグを長期間差しっぱなしにしないでください。ときどきコンセントの表面や刃と刃の間を掃除してほこりをとってください。発煙や火災の原因となります。
- 3) カバー等が割れたりしたままの状態で使用しないでください。感電や火災の原因となります。
- 4) プラグの抜き差しが極端に弱い状態では使用しないでください。発熱して火災の原因となります。
- 5) 二重三重のたこ足配線はしないでください。プラグが抜け易くなり発熱して火災の原因となります。
- 6) 刃の曲がったプラグを使用しないでください。発熱して火災の原因となります。
- 7) プラグを中途半端の差し込み状態で使用しないでください。感電や発熱して火災の原因となります。
- 8) 洗剤や殺虫剤をかけないでください。発煙や火災の原因となります。
- 9) コードを固定しない！はさまない！加工しない！傷つけない！無理に曲げない！ねじらない！引っぱらない！重い物をのせない！加熱しない！コードが破損して感電や火災の原因となります。
- 10) コードを動かすと、ついたり消えたりする場合や、コードが部分的に熱い場合は、コード内部が断線しています。発熱して火災の原因となりますので、使用しないでください。
- 11) コードが傷ついたまま、使用しないでください。感電や火災の原因となります。
- 12) コードを戸を介して隣の部屋へ引き回さないでください。コードが破損して感電や火災の原因となります。
- 13) 乳幼児が触れたり、手の届くところに放置しないでください。感電や火災の恐れがあります。
- 14) アースは必ず行ってください。